

## 新聞を教育へ

- NIE を考える -

開倫塾

塾長 林明夫

Q：NIEとは何ですか。

A：(林明夫：以下省略)Newspaper in Education(新聞を教育へ)の略号です。NIEは1930年代にアメリカから始まり現在では50か国余りで取り組まれています。わが国でも既に20年余りの歴史を持っています。現在では、毎年500校近くの学校が日本新聞文化財団の新聞提供事業を受けNIE実践校として新聞を教室で活用するに至っています。(以上は、日本NIE学会の会長で横浜国立大学教授の影山清四郎先生が編著なされた「学びを開くNIE -新聞を使ってどう教えるか」春風社2006年8月25日刊の影山先生がお書きになった「はしがき」から引用させて頂きました。)

Q：なぜ、林さんは「新聞を教育に」というNIEの活動に興味があるのですか。

A：日本人が毎日のように家庭で読む新聞は欧米でいう「大衆紙」と異なり、質の高い「クオリティペーパー」です。世界では「クオリティペーパー」を読むのは、教養の高い人々と言われています。

多様な価値観を許容する「寛容さ」、自立した上で他人に迷惑をかけない自立心、相手を思いやる繊細な心を多くの日本人が持つのは、日本人の「教養」の高さのあらわれであると思います。

その「教養」は、家庭教育、学校や民間教育での基礎教育、社会での教育とりわけ職場での企業内研修、そして質の高い新聞を毎日のなめるように新聞を読む習慣などから生まれたものと考えます。新聞は日本人の高い「教養」を下支えするものだと思います。

ただ、昨今はTVやパソコン画面による情報が容易に取れるため、落ち着いて新聞を毎日なめるように読む習慣が身についていない人が激増しています。新聞すら落ち着いて読めないということは、少し難しめの雑誌や論文、単行本などは縁遠くなり、知識社会で不可欠な専門性を極めることが困難となります。

Q：新聞は、学習塾や予備校、私立学校の教育に役立ちますか。

A：なぜ勉強することは必要なのか、教育成果を決定する第一の要因である学習者本人の「自覚」を促す上で新聞は役に立ちます。現代社会のかかえる問題を新聞で知れば知るほど、ではその中でどのように生きねばならないかを考え、能力強化のために不可欠な教育の必要性を自覚せざるをえないからです。

**Q：NIEでの先生の役割は何だと考えますか。**

A：教育成果を決定する第二の要因は「先生の力量」です。学習者本人の「自覚」を促すことは、「先生の力量」に入ります。新聞を活用して学習者の「自覚を促す」ことが先生の役割と私は考えます。

**Q：開倫塾ではどのようにNIE活動をしていますか。**

A：塾生の「自覚を促す」ことを前提として、教え手である「先生の自覚を促す」ことが大切と考えます。そこで毎年10月15日からの「新聞週間」や、11月第2週の「NIE週間」などを活用して、先生方のNIE研修会を行っています。

例えば、今年は10月31日(火)に下野新聞社の鹿沼印刷所を視察し、「栃木県NIE推進協議会」から講師をお招きしお話をうかがった後、開倫塾のNIE活動ベストプラクティス表彰式と発表会を行いたいと企画しています。また、今年もいくつかの校舎に新聞記者や新聞販売店の方を講師としてお招きする予定です。

私自身は11月19日(土)に横浜国立大学で開催させる第3回NIE学会で開倫塾の取り組みについての課題報告をさせて頂く予定です。

**Q：学習塾や予備校、私立学校の経営者の皆様に考えて頂きたいことはありますか。**

A：当日の新聞を使用するNIE活動は、膨大な新聞購入費用が生じます。しかし、昨日までの新聞を活用すればいくらでも費用をかけずNIE活動はできます。

また、先生方が年間カリキュラムを組み、新聞記者の方を講師としてお招きし、子どもたちや先生方、保護者の皆様に新聞ができるまでというお話をして頂ければ、新聞に親しむ素晴らしい動機付けができます。

日本NIE学会や各新聞社のNIE関係のホームページでは、NIEの具体的展開についての情報がたくさん紹介されています。工夫次第で各科目のカリキュラムの中に新聞をくみ入れることも大きな教育成果を生み出します。

民間教育機関でも、「新聞文化」とも言える誇るべき日本の新聞を最大活用して高い教育成果を目指して頂きたいと思えます。世界の新聞も日本では容易に購読できます。まずは英字新聞を積極的に活用すれば素晴らしい教育成果が生まれると確信します。

「質の高い新聞」という素晴らしい教材が工夫次第でいくらでも簡単に手にはいる日本であるのに、全くと言ってよいほど教育の場で活用しないのは、ダイヤモンドがゴロゴロ目の前にころがっているのに誰もそれを拾おうとはしないのと同じで、「もったいなく」思えます。

**Q：最後に一言どうぞ。**

A：学習塾や予備校、私立学校でのNIE活動にご関心のある方は、開倫塾に御連絡下さい。(0284-72-5945 開倫塾、塾長室まで)。拙い取り組みではありますが、御紹介させて頂きます。

— 2006年8月16日記 —